

指導を受けながら歯を磨く上野保育園の園児たち



いつまでも歯を大切に

6月4日から10日まで歯の衛生週間です

歯の衛生週間にあわせて、乳歯が生え代わり虫歯になりやすい時期の園児を対象に、町母子保健推進員と子育て支援センター職員が町内の保育園や幼稚園7カ所を巡回し虫歯予防教室を開催しました。教室では、エプロンシアターや紙芝居を使用し、おやつを取り方や歯磨きの大切さを園児たちに伝えました。園児たちは楽しそうにエプロンシアターや紙芝居を聞き、歯ブラシを使って歯の磨き方を学びました。町ではこのほかにも、年中児・年長児を対象にむし歯予防に有効なフッ化物洗口を行っています。

花と野菜の苗をプレゼント

J A育苗部会が苗を寄贈

5月16日、J Aかみましき女性部御船支部育苗部会（野口英子部長）から、花と野菜の苗約5,200本が役場へ届けられました。これは毎年、環境美化や食育の推進などに役立てようと、同部会で育てた花や野菜の苗を贈っているもので、今年で15回目になります。今年は、マリーゴールドやサルビアなどの6種類の花の苗約4,100本と、水前寺菜やトマトなどの4種類の野菜の苗約1,100本が届けられ、町内の保育園や幼稚園、小中学校など16施設に渡されて、定植されています。



花や野菜の苗を贈った育苗部会のメンバー

みんなで語りつながる輪

がんサロンいきいき茶論

5月25日、がんへの知識や情報交換の場を提供する上益城郡内では唯一のサロン「みふねがんサロンいきいき茶論」が保健センターで開かれました。サロンは、がん患者や家族、支援者が安心して思いを語り合える空間づくりを目的に毎月第4金曜日に開催されており、今回で9回目の開催になります。この日は、「見えないことが私の武器」をテーマにした講演が行われ、後半は、参加者が持ちよった飲み物やお菓子を食べながら、がんに対する相談や体験などを語り合いました。馬場代表は「町内からの参加者が少ないが、がん患者同士で話をする場なので、参加して少しでも不安やストレスなどを解消してもらいたい」と話していました。

参加費は無料です。詳しくは世話人会へお尋ねください(☎090-7533-4944)。



町内外から13人の参加があり開催された

幻の滝1年ぶりの復活

第24回七滝ふるさと滝まつり

5月6日、七滝ふるさと滝まつり(七滝観光推進委員会主催)が七滝神社周辺で開かれ、1年ぶりに「七滝」が復活しました。七滝は昭和12年以降、上流にできた水力発電所への取水で、水の流れない幻の滝となっていました。地域住民の要望で、平成元年から滝まつりにあわせて、年に1度だけ放流が行われています。

年に1度の放流を一目見ようと約200人の見物客が集まり、豪快な瀑布に歓声を上げていました。

七滝地区に長年暮らしている、平野文子さんは「昔は、さつき会という会で滝見物に来られる人たちに、お茶を出していました。やがて饅頭や山菜おこわ、赤飯や郷土料理を出品するようになりました。その後、駐車場が整備され、テレビや新聞などで滝まつりが有名になっていきました。お茶一杯のきっかけから続いている滝まつりを目の当たりにして、若かったころを懐かしく思い、感慨深い一日でした」と話していました。滝まつりでは太鼓や大道芸などもあって終日にぎわっていました。



多くの見物客の前に1年ぶりの姿を現した七滝

地域の核となる公民館を目指して

公民館分館長会議



会議では活発な意見交換が行われた

5月22日、町カルチャーセンターで、町公民館分館長会議が開催されました。各分館長10人より、平成24年度の努力目標および事業計画について報告が行われたあと、家庭教育の重要性についてお互いに確認しました。また、町公民館の努力目標7項目を決定し、重点目標として「国旗掲揚を地域に呼びかける活動を推進すること」なども話し合われました。

平成24年度御船町公民館努力目標

1. 人権尊重
(人権を尊重し、差別のない明るい社会を築きましょう。)
2. 生涯学習
(進んで生涯学習に参加し、充実した生活を送りましょう。)
3. 青少年の健全育成
(地域の教育力で、健全な青少年の育成を図りましょう。)
4. 国旗掲揚
(祝日には、国旗を掲げて祝いましょう。)
5. 挨拶運動
(地域こそって、挨拶運動を進めましょう。)
6. 環境美化
(自分たちの手で、環境の美化に努めましょう。)
7. 生活の簡素化
(虚礼を廃止し、生活の簡素化に努めましょう。)